

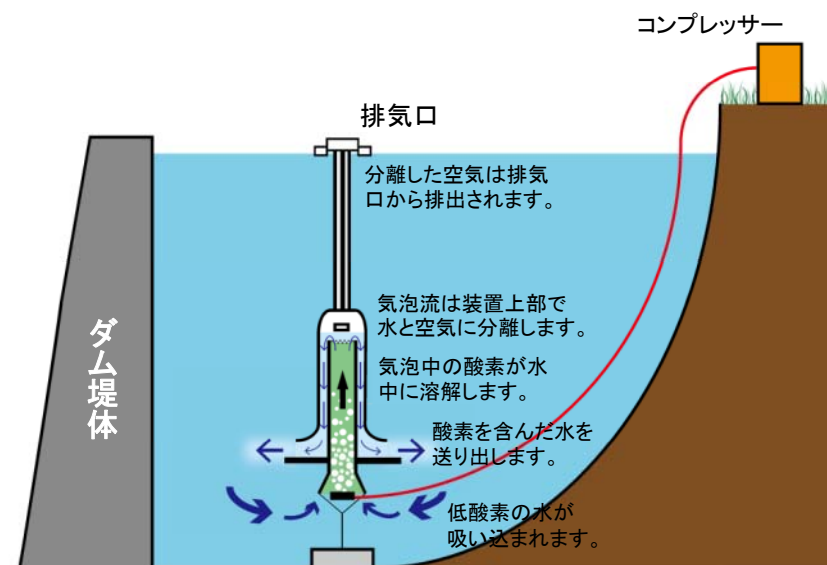
(お知らせ) 平成30年6月19日に深層曝気設備の運転を開始しました。

貯水池底層の溶存酸素低下に伴い、平成30年6月19日に深層曝気設備の運転を開始しました。

深層曝気設備は、溶存酸素の乏しい貯水池底層部に空気を送り込み、水質悪化を抑制する施設です。湖岸に設置されたコンプレッサーから空気を装置底部に送り、酸素を含んだ水を装置から送り出しています。



曝気装置全景



深層曝気設備の仕組み(イメージ図)※

※ コンプレッサーで送り込んだ空気は貯水池底層の溶存酸素を改善した後、装置上部で水と空気に分離し、空気は排気管を通しダム水面上にある排気口から排出しています。